

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.41
2011.1

くしろ丹頂

謹賀新年

音別海岸から望む日の出

CONTENTS

- 新年のごあいさつ
(代表理事組合長 瀧澤 義一) ————— 1
- 新年のごあいさつ
(北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔章) — 2
- 新年のごあいさつ
(代表理事専務 對木 範譽) ————— 3
- 普及センターだより ————— 4
- 組織機構図 ————— 7・8
- 年始休業予定表 ————— 9

参 員 外 監 事	監 事	代 表 監 事	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	理 事	信 用 担 当 理 事 兼 参 事	代 表 理 事 専 務	代 表 理 事 組 合 長		
他 職 員 一 同	寄 上 泰 晴	村 戸 計 見	瀨 田 博	尾 坂 文	大 井 行	田 澤 治	芳 出 清	井 藤 隆	武 清 治	松 井 俊	松 下 勉	高 橋 達	梶 原 英	對 木 範	瀧 澤 義

謹んで新春の
お慶びを申し上げます



新年にあたり

釧路丹頂農業協同組合

代表理事組合長

瀧澤 義一



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年、農業・農協を取り巻く情勢は正に苦難の連続でありました。四月の宮崎県での口蹄疫の発生は、初期対応の遅れから牛・豚約29万頭を殺処分する大惨事となり、全国的にその発生と侵入防止に苦悩する数ヶ月でありました。

春先の低温冷夏予想が一転、日本列島が記録的な猛暑となり、農畜産物生産に多大な被害を発生させる事となり、国民生活に与えた影響は計り知れないものとなりました。当地域の酪農においても当初は好天による牧草・デントコーンの生育良好による良質粗飼料の確保に期待大でありましたが、ほぼ三ヶ月に及ぶ高温期は乳牛のストレスの蓄積となり、生乳生産の減少・受胎率の低下など、次年度まで影響の残る憂慮すべき事態となっております。

その様な状況の最中、菅首相は十月一日の衆参両院本会議におけ

る所信表明演説において、「環太平洋連携協定(TPP)等への参加を検討し、アジア太平洋自由貿易圏の構築を目指す」と発言し、あまりにも突然の表明に農協・農業関係者は勿論、その影響の大きさを知る全ての人々が、啞然としたのは記憶に新しい所であります。その後十二月十日の全国反対集会、十二日の全道総決起集会を経て、全国・全道各地で反対集会が開催され、釧路地区においても十二月十一日に予定を上回る千人の参加を得てTPP交渉参加断固阻止釧路管内総決起大会を開催し、地区内農業(酪農畜産)のみならず、全ての産業に影響が及び経済活動の減退と疲弊をもたらすという危機感を共有した所であります。一昨年九月の現政権発足以来、国民の期待はことごとく裏切られて来たという感が強く残ります。政権奪取に掲げた選挙用マニフェストが前政権、しいては我が国の伝統文化を否定する所から始まっ

たとすれば、国民の理解・支持を継続するには無理があったと言わざるを得ません。

農業政策でも食料自給率50%を目標としながら、関連予算の大幅削減を断行するなどして、政策の一貫性が示されていないばかりか、財源不足のまま踏み込んだ所得補償制度も、酪農・畜産分野での実現は相当に困難な状況にあると考えています。

さて、以上述べましたような環境下での昨年の営農でありましたが、総じて近年に無いほどの経営収支の悪化という事になってしまいました。乳価の減少、生乳生産の落ち込み、飼料代を主とする生産資材価格の高止まりや各種補助金等の廃止・減少などマイナス要因ばかりが多い一年となりました。

JAくしろ丹頂は、昨年五月十四日第四回通常総会で現役員(理事十一名・監事三名)の選任をいただき、私自身二期目の代表理事組合長の就任という事で決意も新たに「地域農業振興計画・JA中期経営計画」の実践と設定目標の到達に向けて取り組んだところでありますが、周囲の環境変化は当初の予測範囲を超えており平成二十五年度を最終年としておりますが、直面する課題解決に向けて再検討の必要を感じる新年の幕開けとな

っております。

平成二十三年度の酪農畜産関連予算は、その大層が一般予算化される事から二十二年末で決定される見通しであり、補給金単価と限度数量など、一部が従来決定時期まで持ち込まれる予定であります。昨年、昨年の様な経営状況を繰り返さないよう要請活動等に懸命の努力を続けている所であります。昨年も記しましたが、営農計画樹立の基本となる生産目標数量や販売単価を、希望の持てる数値で示す必要がありますが、それが現時点で出来ない事をお詫びするしかありません。生乳生産を満度として、補給単価を含めるプール乳価の大幅な上昇が実現するよう関係者一丸となり、最大限の努力を傾注していきます。

今年も又、取り巻く環境は極めて厳しいスタートとなりましたが、JAくしろ丹頂が合併時に掲げた基本理念の実現の為、役員員尚一層の組織力を発揮し、組合員経営の維持向上と生活の安定に寄与できよう努力して参ります。

組合員の皆様も引き続き、農協に結集していただき、その組織力をもつてこの難局に立ち向かえば希望の道は必ず開きます。新年にあたり、皆様の御健勝を祈念し、御挨拶といたします。



年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員をはじめJA役職員の皆様方が、希望に満ちた平成二十三年の新春をご家族とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、まさに異常気象にみまわれた一年でありました。春先の天候不順が一転し六月には好天に恵まれ、豊作の出来秋に大きな期待を高めました。夏以降、猛暑・豪雨等により、作目全般にわたり総じて収量低下や品質低下が見られ、生産者・JAの努力が報われない厳しい出来秋となりました。

また、北海道農業は、農業者の高齢化と担い手の不足など、地域農業の構造変化が続く中で、農地制度改革や食料・農業・農村基本計画の見直し、平成二十二年の米モデル対策を経て平成二十三年は

水田経営に加え畑作経営で実施される戸別所得補償制度など農業政策は大きな転換期を迎えております。

特にTPP（環太平洋連携協定）に関しては、菅首相の所信表明演説での唐突な参加検討の表明以来、国内は激震が走り大きく揺れています。JAグループ北海道は、この問題が北海道にとって重大な事柄であり、経済団体・消費者団体などとも連携し、JAグループ北海道をはじめ漁業・林業に加え、道経連・道消費者協会等五十六団体共催のもとにオール北海道で昨年十一月十二日『地域社会のあり方等「この国のかたち」を問う道民総決起大会』を開催し、千七百人もの参加をいただき「交渉参加の断固阻止」を訴えました。大会アピールをうけ、直ちに「北海道

農業・農村確立連絡会議」として、北海道知事らとともに、政府や与野党に「農業者はしっかりと生産し、国民にとって大事な食料を供給する」という、この基本を崩さないよう」強く要請いたしました。

この問題は、まさに「この国のかたち」のゆくえが憂慮される事態であり、組合員の営農と生活を守るためにも政府の暴走を断じて許すことはできません。今後も北海道の総力を挙げて強力な運動を展開してまいります。

さて、本年は『協同の力で築く「あすの食をささえる北海道農業」』を主題に開催した第二十六回JA北海道大会の実践2年目を迎えます。この決議事項である「北海道農業の潜在能力のフル発揮への挑戦」は、国民の命の根源である食料生産を担う組合員が安心して農業経営に従事し、さらなるステツプアップを図り、食料自給率の向上に寄与し安全・安心な農畜産物の安定供給を通じて、消費者の皆さんに北海道農業を応援していただくための取り組みです。

また、JA経営では「協同と信

頼の絆で築く新時代のJA」の実践によって、経営の健全化と強靱な経営基盤を確立し、組合員の期待に応じられる高度な事業機能を有するJAとなることをめざすものであります。

今後、景気の低迷や農業貿易交渉等の進展によっては、農業への影響が大きく懸念されますが、全道の組合員の皆様をはじめJA役職員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をよりどころにして、JAへの結集を強め協同運動を強力に展開することにより、この苦境を打開し未来を切り開くものと確信しております。

本年こそは災害がなく、豊穡の出来秋を迎えることができ、北海道農業の発展と成長をめざし飛躍の「卯年」となりますよう心から祈念申しあげ、新年のご挨拶いたします。



新年を迎えて

釧路丹頂農業協同組合

代表理事専務

對木 範登



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様には、平成二十三年の輝かしい新年を、ご健勝で迎えの事とお慶び申し上げます。

不肖ながら私、昨年五月の役員改選で代表理事専務に選任され、常勤役員としての職責の重圧と緊張の中で、多くの皆様に支えられながら八ヶ月が経過致しましたが、この間の組合員皆様及び関係機関皆様のご指導とご協力に改めて感謝と御礼を申し上げます。

わが国の経済は、構造的なデフレ環境下で海外需要や政府が講じた経済刺激対策などにより景気下支えがなされてきましたが、今後の海外景気の動向や国内雇用情勢などに不安定さもあり、景気見通しはやや弱含みの下方修正がなされています。

国内における政治情勢は、政権交代後一年三ヶ月が経過しました

が、多くの国民はこれまでの政治・経済・社会生活等の閉塞状況の改革や、新しい発展と飛躍を期待したところですが、この間の現実対応には、失望やもどかしさを感じ、その結果、政治不信や内閣支持率の低迷となって現れているのではないかと感じます。特に農業振興については、政策指針である「食料・農業・農村基本計画」を基本として、食料自給率の向上や食の安全安心など、目的意識を明確にして、これを忠実に追求する有言実行の政治的リーダーシップが期待されますが、突然のＴＰＰ参加表明など、唐突で相容れない方針には断固反対すると共に、今後における充分な国民的議論が必要であると思います。

昨年は、四月二十日に宮崎県において、国内では十年振りに家畜法定伝染病の口蹄疫が発生し、ワクチン接種による最終手段を経て

八月二十七日に終息宣言が出されるまでの四ヶ月間に、約二十九万頭の家畜が殺処分される結果となりました。世界的にみれば口蹄疫は恒常的に発生しており、一旦発生をみると壊滅的な打撃を受ける事から、農場自ら石灰の敷設・消毒槽の設置などを行い、日頃から防疫意識を高める事が最低限の自己防衛手段ではないかと考えます。

又、酪農畜産生産環境を顧みますと、春耕期に入っても気温が上がらず、冷夏の予想をした気象庁の長期予報が的中したかに見えましたが、六月以降は天候が回復し、道東地方で異常とも言える気温の高い日が続き、牧草やコーンの生育も一気に回復して、粗飼料の量的な確保は出来たものと思います。しかし品質面においては、グラスサイレージの粗飼料分析結果などは、栄養成分の低いものも散見され、事前に分析を実施するとともに飼料給与にあたっては、工夫が必要と思われます。又、この夏の記録的な猛暑で、乳牛の体調がいまだに回復しておらず、少なからずとも本年の生産等に影響する事が懸念される所でもあります。生産乳量も伸び悩み、予想されては

いた事ですが乳価の引き下げ、各種奨励対策の削減等で、年末のクミカン精算では前年に比べてマイナスの経営が増加する厳しい結果となりました。

新年度営農計画では、生産体制の立て直しと経営収支の改善のため経営管理の徹底・コスト削減等農家戸々のより一層の努力が必要な年となりそうです。そんな厳しい状況の中、一昨年のＪＡ北海道大会決議事項である「北海道農業の潜在能力のフル発揮の挑戦」及び「協同と信頼の絆で築く新時代のＪＡ」の各重点目標の推進を通じて、今後ともＪＡが組合員の期待に応え、農業経営の安定と向上を目指し、役職員一丸となり日々努力する事が使命であることを再認識し、組合員の皆様とともに、決意を新たにして取り組んで参る所存ですので、引き続きご指導とご協力を賜ります様宜しくお願い申し上げます。

皆様にとりまして、本年がご健勝でご多幸の一年となります様、心から御祈念申し上げ、新年の御挨拶と致します。

繁殖成績を改善しよう

昨年 of 猛暑の影響で「再発が増えてきている」と耳にします。空胎が一日延びると、一頭あたり一二〇〇～一六〇〇円の損失になるとも言われています。

繁殖情報を整理し活用することで、繁殖成績を向上させていきましょう。

一、繁殖情報を整理しよう

繁殖成績を向上させるためには、発情牛の発見、妊鑑対象牛の特定、そして問題牛の早急な対応が必要です。

そのためには、繁殖に係わる情報を整理し、誰もが分かるようにしておくことが大事です。

情報を共有化しよう

整理した情報は牛の管理担当者全員が把握できるようにしましょう。

口頭で伝えたのでは忘れることもあります。カレンダーやホワイトボードに記入したり、パソコンの場合、帳票を印刷して貼り出すなどの工夫も大事です。

二、情報の使い方

整理した情報を元に次のような取り組みを行いましょう。

①分娩後の管理

◆子宮の回復確認

(分娩後三〇～四〇日)

分娩後いかに早く子宮が回復するかが年一産を目指すためのカギです。

難産や無理な介助で産道が傷つくこともあります。子宮が回復していなければ受胎は難しいと言えます。



繁殖管理版



上：メモによる情報共有
下：繁殖カレンダー

いいをよく観察しよう

- ・産褥熱が出ていないか
- ・いつまでも悪露が出ていないかを確認しましょう。

異常があった場合にはすみやかに獣医師に診て貰いましょう。

可能であれば定期的に獣医師による子宮の回復確認（フレッシュチェック）をして貰うことも効果的です。

◆初回発情の観察

(分娩後二〇～四〇日)

子宮の回復が順調であれば概ね分娩後二〇～四〇日に最初の発情が来ます。

いいをよく観察しよう

- ・観察のための時間を作る
- ・観察は一日二～三回
- ・朝一番の観察は念入りに
- ・対象牛を集めて配置したり、群分けで観察しやすく

分娩後五〇日以上たっても発情の兆候が見られない場合は獣医師の診断を受けましょう。

②受精後の管理

◆再発情の観察

(授精から十七～二十三日後)

初回発情を見付けて授精できたとしても、受胎しているとは限りません。

釧路管内の初回受胎率は三八%です。(平成二十二年乳検より)これは、三頭に授精しても一頭しか止まらないことを意味しています。

授精のタイミングが悪かったり発情が弱かった牛は意識して観察しましょう。

◆妊娠鑑定

(授精から五〇～六〇日後)

受胎していない牛を見つける為に妊娠鑑定を依頼しましょう。

いち早く発見することで次の授精に向け、観察や治療を早く実施できます。

繁殖成績の改善には時間が掛かります。

今から再発情の対策にしっかりと取り組み、今年の繁殖成績の改善に備えましょう。



J A くしろ丹頂組合員組織

あけましておめでとうございます。

釧路丹頂農協女性部

部長 峯田 弘子

釧路丹頂農協青年部

部長 斉藤 和弘

釧路丹頂農協酪農振興会

会長 竹中 憲之

釧路丹頂農協肉牛振興会

会長 成田 俊英

釧路丹頂農協馬事振興会

会長 江崎 勝三

釧路丹頂農協乳牛改良同志会

会長 瀧澤 一成

外国人研修生受入協議会

会長 中尾 幹夫

幌呂大型機械利用組合

組合長 松下 和波

鶴居宮農組織代表者協議会

会長 斉藤 滋

鶴居村乳牛検定組合

組合長 松井 俊治

J A くしろ丹頂組合員組織

本年もよろしくお願い申し上げます。

鶴居村酪農ヘルパー利用組合

組合長 高橋 文雄

白糠町乳牛検定組合

組合長 田口 秀男

白糠町酪農ヘルパー利用組合

組合長 五十嵐 正敏

音別町酪農ヘルパー利用組合

組合長 山田 巧

白糠町野菜生産組合

副組合長 平賀 幹夫

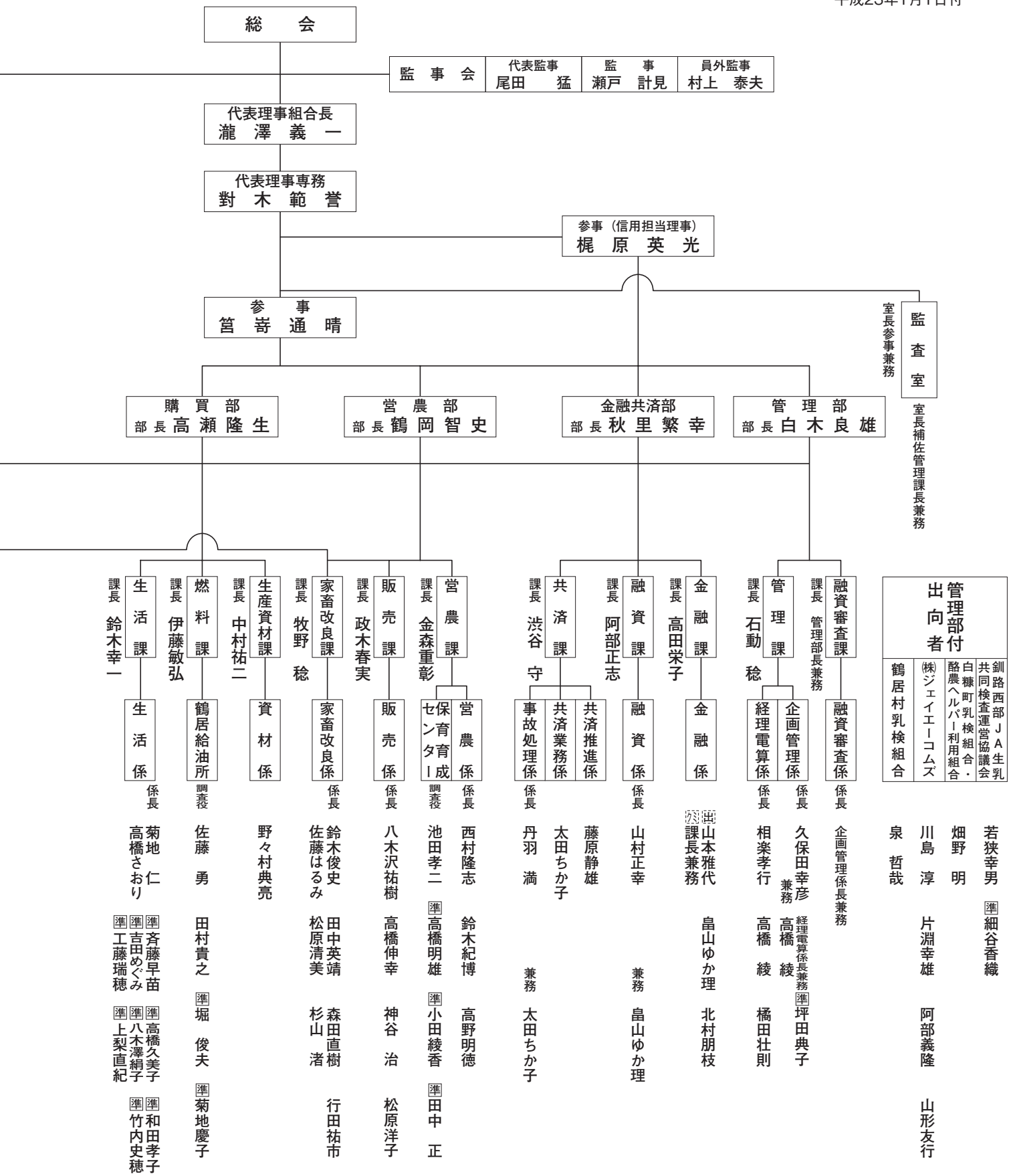
白糠町農民組合

執行委員長 芳澤 浩一

白糠町農村青少年クラブ

会長 對木 賢雅





区分	男	女	計
正職員	90	27	117
準職員	15	31	46
計	105	58	163



JAくしろ丹頂組織機構図

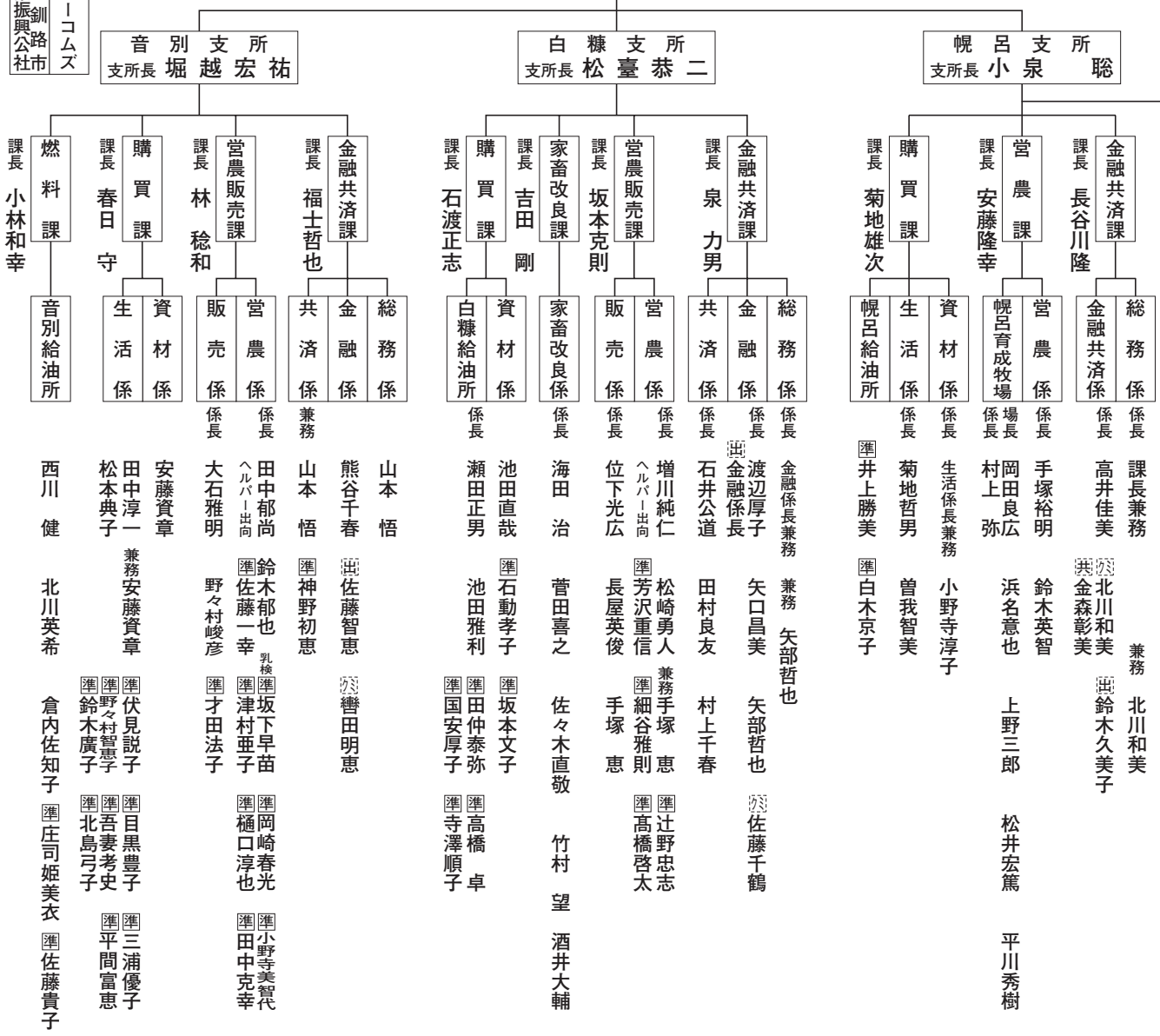
瀧澤義一 武藤清隆	對木範督 井出清澄	高橋達雄 芳澤改治	松下 勉 田井博行	松井俊治 大坂博文	学識経験理事 梶原英光	理 事 会
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	----------------	-------

管理金融共済委員会
委員長 大 坂 博 文

営農経済委員会
委員長 松 井 俊 治

融資協議会
委員長 井 出 清 澄

社 員 社
(株)ジェイエーコムズ
社団法人釧路市
音別町農業振興公社



JAくしろ丹頂 年始休業予定表

部門 年月日	各 地 区 の 事 務 所			販 売			家畜改良	生 乳	哺育育成 センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白 糠	音 別	鶴居・幌呂 白糠・音別			
平成23年 1 月 1 日(土)								通 常 業 務		
1 月 2 日(日)							業務始め*			
1 月 3 日(月)										
1 月 4 日(火)		業務始め								
1 月 5 日(水)				業務始め 初生集荷	業務始め 初生集荷					
1 月 6 日(木)	業務始め		業務始め	定期市場（初セリ）		業務始め				
1 月 7 日(金)						初生集荷				
1 月 8 日(土)										

部門 年月日	購 買 ・ 鶴 居			購 買 ・ 幌 呂			購 買 ・ 白 糠		購 買 ・ 音 別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成23年 1 月 1 日(土)											
1 月 2 日(日)											
1 月 3 日(月)		業務始め			業務始め*						
1 月 4 日(火)	業務始め						業務始め 午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1 月 5 日(水)									午後6時まで		
1 月 6 日(木)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め
1 月 7 日(金)											
1 月 8 日(土)											

* 午前中のみ営業となります。 営 業 日 休 業 日 1/8(土)は、全業務午後4時までの営業となります。

・ 万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル (☎0120-25-8931) に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、中村 (64-2954) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸 (57-8388) に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、菊地 (65-2207) に連絡して下さい。
- ・ 給油スタンドに関することは、菊地 (65-2207) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、北釧運輸 (23-7680) に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・ 生産資材に関することは、石渡 (自宅2-3515携帯090-3396-0623) に連絡して下さい。

- ・ 給油スタンドに関することは、給油所 (2-2084) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・ Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
- ・ 生産資材に関することは、春日 (6-2020) に連絡して下さい。
- ・ 万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸 (0154-57-2777) に連絡して下さい。

◆人工授精業務、年末年始の対応について

- ・ 1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分 (厳守) 対応となりますので、よろしくお願い致します。

□新年明けましておめでとうございます。本年が皆様方にとりまして、稔り多い良き「卯年」となるよう、心からご祈念申し上げます。

□表紙の写真は、音別の海岸から撮ったもので、風が強く波が立っている中でも、力強く昇る太陽は、一際輝いておりました。

□本年も、当JA広報誌「たんちょう」をよろしくご愛読お願い致します。

編 集 後 記
EDITOR'S NOTE